

総合型地域スポーツクラブ

地域住民

クラブの運営への参画（クラブマネジャー、指導者、ボランティアスタッフなど）

地域住民の自主的・主体的な運営

「総合型」=3つの多様性
多種目・多世代・多志向

- 自分のやりたい種目に
- 複数の種目に

- 幼児から高齢者まで
- 親子で、家族で、仲間と

- 自分が楽しめるレベルで
- 自分の目的に合わせて

会費を支払う（受益者負担）

多種目
多世代
多志向

総合型地域スポーツクラブ

定期活動

- ・スポーツ教室、スクール
- ・サークル活動（文化的活動含む）等

クラブ運営の要となる
クラブマネジャー

—多種多様な事業の展開—

不定期活動

- ・医師による健康相談
- ・指導者講習会
- ・スタッフ研修会 等

会員の交流拠点となる
クラブハウス

学校施設・廃校施設等を定期的・継続的な
拠点として利用

連携・交流事業

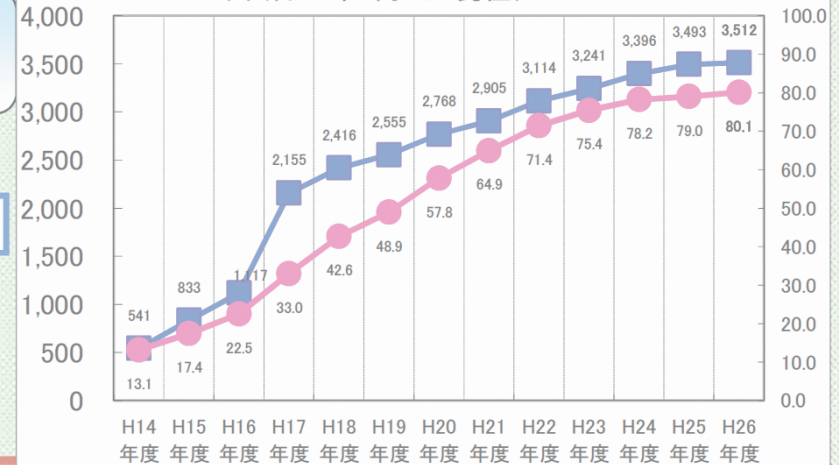
- ・会員の世代間の交流を図る行事やイベント
- ・クラブ指導者の派遣による学校の授業・部活動への支援
- ・地域住民全体を対象としたイベント 等

《クラブ設立の効果》

- 元気な高齢者が増えた
- 地域住民のスポーツ参加機会が増えた
- 地域住民間の交流が活性化した
- 世代を超えた交流が生まれた 等

- ・地域住民が主体的に地域のスポーツ環境を形成する「新しい公共」が実現
- ・運動不足の解消による過剰医療費の抑制に寄与
- ・学校の授業・部活動への支援を通じて、コミュニティスクールへの発展に寄与

（クラブ数）（平成26年7月1日現在）（設置率（%））



スポーツ基本計画

第3章 今後5年間に総合的かつ計画的に取り組むべき課題

3. 住民が主体的に参画する地域のスポーツ環境の整備

政策目標：

住民が主体的に参画する地域のスポーツ環境を整備するため、総合型地域スポーツクラブの育成やスポーツ指導者・スポーツ施設の充実等を図る。

(1) コミュニティの中心となる地域スポーツクラブの育成・推進

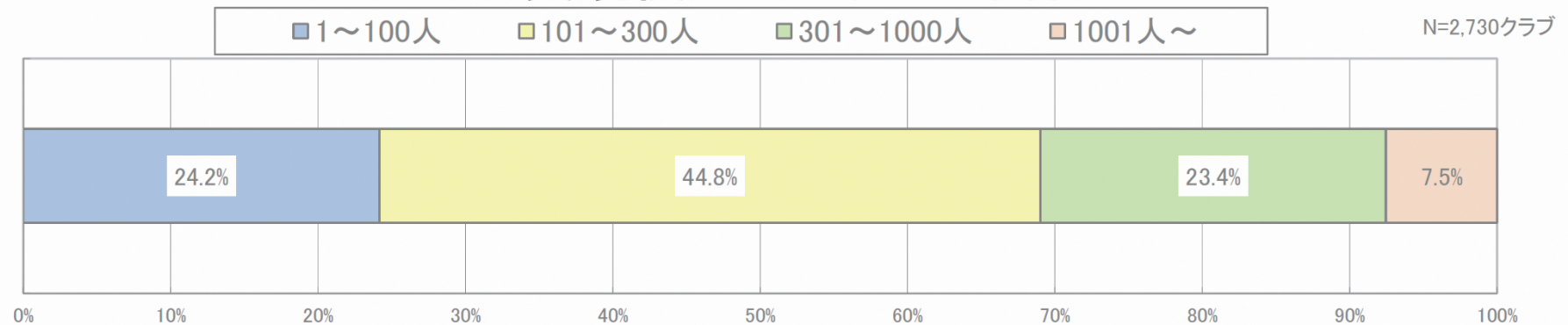
① 施策目標

総合型クラブを中心とする地域スポーツクラブがスポーツを通じて「新しい公共」を担い、コミュニティの核となれるよう、地方公共団体の人口規模や高齢化、過疎化等に留意しつつ、各市区町村に少なくとも1つは総合型クラブが育成されることを目指す。

さらに、総合型クラブがより自立的に運営することができるようにするため、運営面や指導面において周辺の地域スポーツクラブを支えることができる総合型クラブ（「拠点クラブ」）を広域市町村圏（全国300箇所程度）を目安として育成する。

総合型地域スポーツクラブの会員

会員規模別のクラブの割合

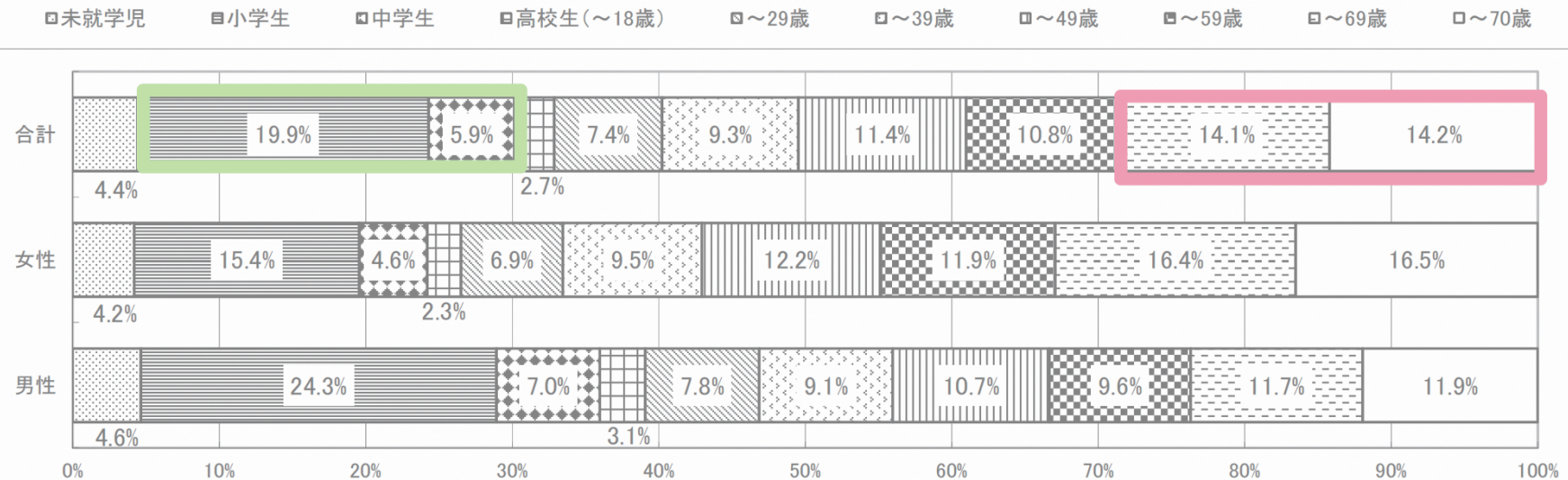


小・中学生 25.8%

総会員数の内訳

60歳以上 28.3%

N=1,308,836人

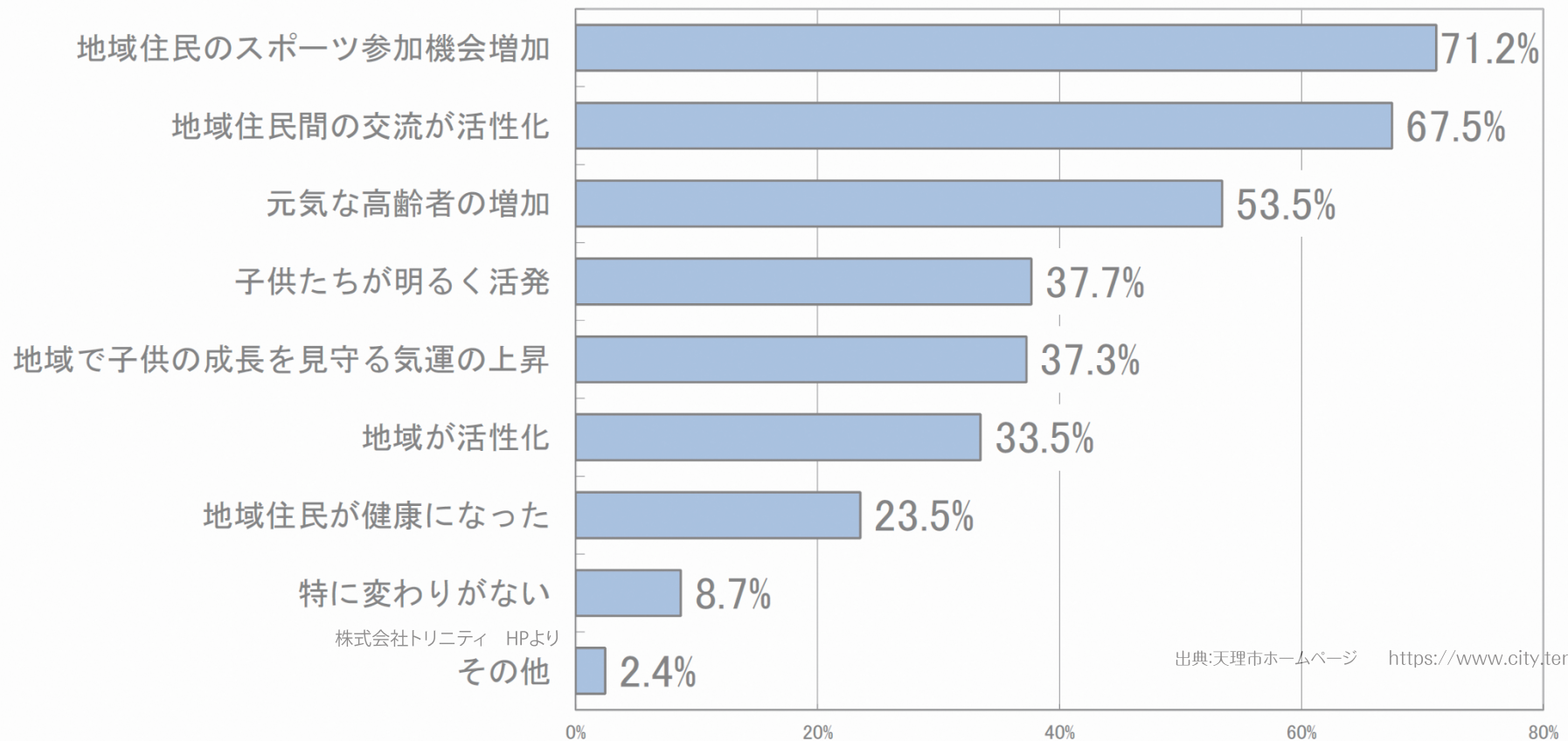


（出典）文部科学省「平成26年度総合型地域スポーツクラブに関する実態調査」

総合型地域スポーツクラブの設立効果

- 地域住民のスポーツ参加機会増加 71.2%
- 地域住民間の交流が活性化 67.5%
- 元気な高齢者の増加 53.5%

N=2,694クラブ

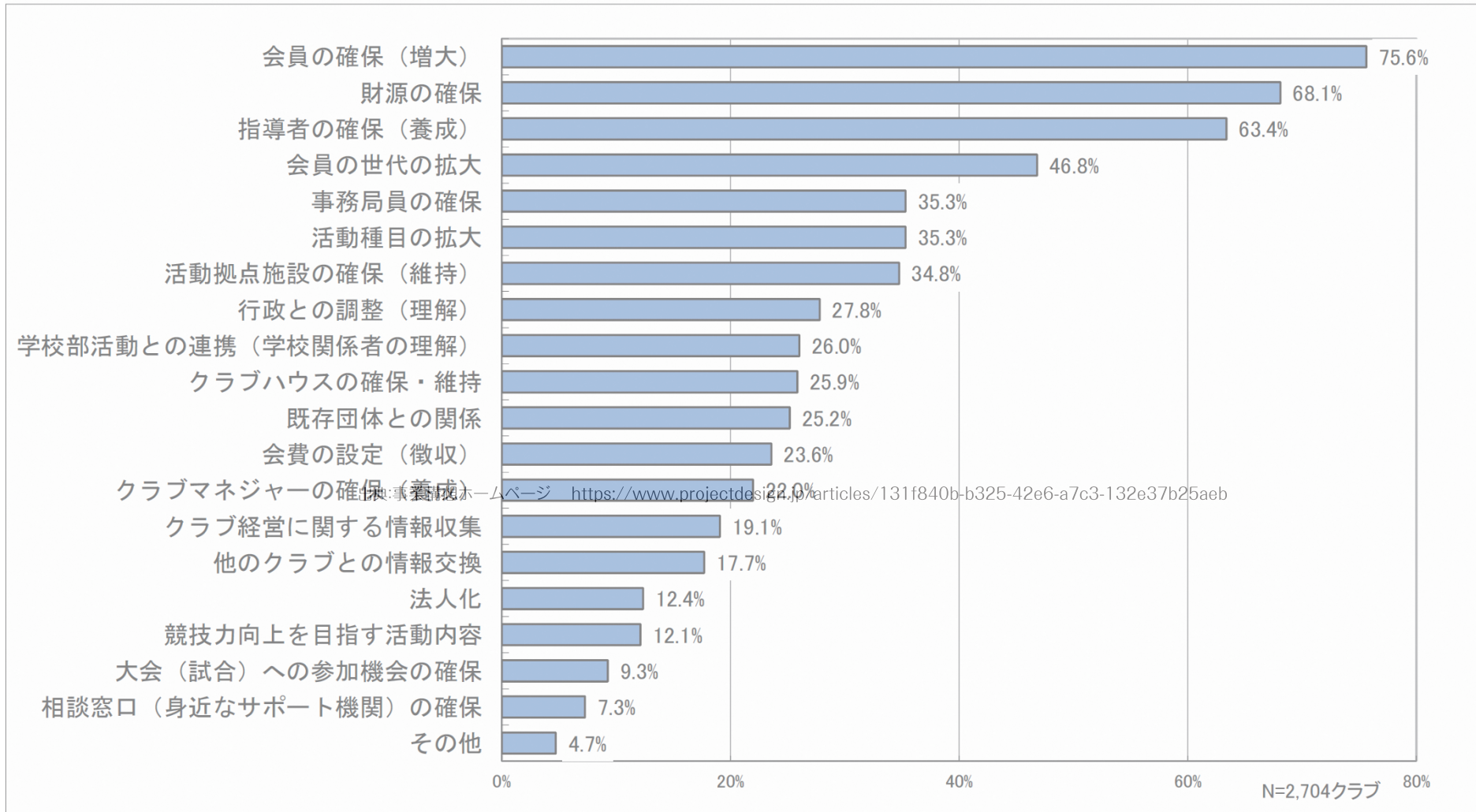


出典:天理市ホームページ <https://www.city.tenri.nara.jp/material/files/>

(出典)文部科学省「平成26年度総合型地域スポーツクラブに関する実態調査」

総合型地域スポーツクラブの現在の課題

→ 会員の確保 75.6% 財源の確保 68.1% 指導者の確保63.4%



（出典）文部科学省「平成26年度総合型地域スポーツクラブに関する実態調査」

出典:文部科学省スポーツ・青少年局スポーツ振興課「総合型地域スポーツクラブの現状と課題」

地域スポーツとトップスポーツの好循環推進プロジェクト

平成27年度予算額:91,700千円

- 拠点クラブにおいて トップアスリートを活用し、地域のジュニアアスリート等を指導するとともに、学校に「小学校体育活動コーディネーター」を派遣することなどを通じて、**地域スポーツとトップスポーツの好循環を実現**
- 拠点クラブを核とした**エリアネットワークを構築し、好循環の自立・継続化**

